

【テーマ2】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1 1 8 8 4 1 0
園名	光塩幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「みんなで描こう」表現（絵本・図鑑・製作）・自然・気象

<テーマの設定理由>

- 子どもたちにとって、日々の天気は、とても興味・関心をもつことができる。
- 「どうして暑くなったり寒くなったりするのか。」「どうして、雨があがったときに、いろいろな色の橋ができるのかな。」「曇っていろいろな形があるのはなぜかな。」等々、「なぜ?」「どうして?」という疑問はもちやすいが、なかなか答えまでたどりつくことは難しい。

2. 活動スケジュール

(1) 実施時期・回数

①実施時期 令和6年6月～7月

②実施回数 4回

(2) 活動のスケジュール

- ①「かたつむり・あめ・にじ」など、入梅から初夏にかけての歌を歌ったり、パネルシアター「しゃぼんだま」を見たりする。
- ②入梅から初夏にかけての絵本（ものがたり・科学読み物）の司書による読み聞かせから、気象について興味・関心をもつとともに問いをもつ。
- ③子どもたちの問いを解決していく糸口として、子ども自身が、図書室「えほんのもり」で、絵本や図鑑を読んだり見たりして、発見をする。（にじの色、雨がどうして降るのか等）
- ④「気象」について、自分の思いや絵本や図鑑でわかったことなどを、皆で描く。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

(1) 環境設定 「気象」に関する環境デザインの設定

絵本・図鑑エリア（「気象」に関連する絵本・図鑑などを司書とともに選書）絵画製作エリアを設定し、子どもたちが興味・関心をもち、子ども自身が「気象」に関して、主体的に活動できる環境設定を行う。

(2) 活動の様子

①表現（歌唱）→司書による読み聞かせ、パネルシアター「しゃぼんだま」⇔

読書⇔表現（絵画制作）

②子どもたちは、季節の歌を歌い、先生から歌詞の意味、どのような歌なのかの話を聞く。さらに、「気象」についての様々なイメージや問いをもつことができるよう、読み聞かせやパネルシアターなどを聞いたり見たりする。

③「気象」について、自分の思いや願い、調べてわかったことなどを、学年全体で、講堂の窓に描く。

(3) 先生との関わりや子どもたちのつぶやき（写真参照）

子どもたちの思いや願い、自分たちで調べたことなどを描き、お友だちの描いた絵を共有することにより、様々な表現方法があることに気づくとともに、皆で創りあげた喜びを感じることができた。



しゃぼんだまとんだ♪やねまでとんだ♪…
しゃぼんだまって、どうしておそらにとんでいけるのかしら？

かるいから？だって、すぐに消えちゃうよ。

みなさん、一人一人が描いた絵が、
大きな絵本になりましたよ。
少し離れてみんなで見てみましょう。

本当だ！ここにも、あそこにもにじがあるよ。



4. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

○自分の思いや感じたことなどを思い描くとともに、お友だちの描いた様々な表現方法などにより、集団での学びと喜びを感じる様子が見られた。このことから、このような活動を、継続的に実践することの大切さを感じ取ることができた。